

1. 競技種目

男女別に次の種目とし、種目ごとの構成・人数・演武時間を次のように定める。

なお、組演武の部(自由)に関しては、予選競技Ⅰおよび予選競技Ⅱを実施する。

- (1) 組演武の部(2名) … 自由 予選競技Ⅰ：1分30秒～2分、予選競技Ⅱ：時間制限無し
規定 1分30秒～2分
- (2) 単独演武の部(1名) … 自由 1分～1分15秒
規定 1分～1分15秒

- (3) 団体演武の部 … 自由(一部規定あり) 6人、 1分30秒～2分

※ 組演武・単独演武において、「自由」又は「規定」のいずれかを選択して申し込んで下さい(「自由」と「規定」への重複出場は認めません)。全国大会への出場権を得るためには、「自由」の競技へ出場して下さい(「規定」の競技は、全九州大会のみの予選競技ですので、「規定」への出場者は、全国大会への出場権は得られませんので、ご注意ください)。

注1：自由演武は、全て6構成とする。ただし自由組演武に関しては、「予選競技Ⅰ」は自由6構成、「予選競技Ⅱ」に関しては「2. 競技方法(4)」の通りとする。

注2：組演武の部(規定)及び単独演武の部(規定)に関して、

ア 組演武は下記の技をそれぞれの構成の最初に入れて順序通りに演武を行うこと。

イ 単独演武は下記の技を順序通りに演武を行うこととする。

ウ 規定科目について、資格は問わない。

エ 本種目は平成29年度全九州高等学校体育大会出場者の選考のみとする。

オ 規定科目

- ①組演武： 1. 内押受突 2. 突抜(両手) 3. 下受順蹴
 4. 十字受蹴 5. 腕十字固 6. 外受蹴

※上記の技をそれぞれの構成の最初に入れて、順序通り行うこと。交互に行う必要はない。

※外受蹴については、裏・表のどちらを行ってもよい。

- ②単独演武： 1. 天地拳第二系 2. 轉身蹴 3. 逆小手裏返投
 4. 天地拳第三 5. 義和拳第一系 6. 上受蹴(表・裏)

※上記の技をそれぞれの構成の最初に入れて、順序通り行うこと。

注3：団体演武の1構成目と6構成目の単独演武については、下記の単独演武基本法形より1技を選択し、一方向のみ行うこと。

天地拳第一系～六系、義和拳第一系・二系、龍王拳第一系・三系、龍の形(逆小手)、紅卍拳、白蓮拳第一系

また、最高資格者に応じた単独演武を抽出すること。

注4：規定に関しては、規定通り実施されなかった場合は失格とする。

注5：使用技の許容範囲について(全国大会・全九州大会と同様)

ア 演武者が「見習い・6級・5級・4級」の場合は、3級科目までの技が使用できる。

イ 演武者が「3級・2級・1級」の場合は、初段科目までの技が使用できる。

2. 競技方法：

[基準]「一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則」に基づき行う。同規則に記載なき事項は、「全国高等学校少林寺拳法大会規則」を準用する。

- (1) 男女混合組み合わせは、不可とする。
- (2) 団体演武は、1・6構成が単独、2～5構成は相対演武とする。
- (3) 参加申し込み時に登録した者以外の者を含むときは失格とする。
ただし、団体演武については8名まで登録でき、そのうち6名が演武を行う。
- (4) 自由組演武「予選競技Ⅱ」は、指定された演武を行う。指定された演武については、次に示す要領とする。

ア 演武内容は、指定する「技」を行う。

* 公認のボディプロテクター（二重構造の胴）を装着すること。尚、防具については、正常な物を使用し、欠陥や故障状態にあるものを装着しての出場は認めない。

* 演武は、指定された技を指定した順に行う。（双方は行わない）尚、使い方は昇格考試と同様に、どちらかが「1.3.5」を行い、どちらかが「2.4.6」を行う。

イ「指定技」については以下のものとする。

1. 蹴天三 2. 小手抜 3. 屈身突蹴 4. 上受突（表） 5. 上膊捕（両手） 6. 横轉身蹴

* 詳細については問合先に問い合わせること。

ウ 予選競技Ⅱについては、次の指定事項を設ける（全国大会と同様の指定事項）。

- ① 指定以外の技を行った場合は、失格とする。
- ② 指定技の順序が違った場合は、失格とする。
- ③ 指定された以外の連反攻等を行った場合は、総合点より10点減点を行う。

- (5) 組演武の表彰選考は、予選競技Ⅰ・Ⅱの合算で行う。

3. その他

- (1) 会場使用については係員の指示に従うこと。
- (2) 会場内で発生したゴミは各自で必ず持ち帰ること。
- (3) 問合先： 長崎県立佐世保工業高等学校 池田久男 TEL 0956-49-5684